

# 日本図書館情報学会会報

No. 183

2021年2月10日

日本図書館情報学会事務局  
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1  
相模女子大学 金井喜一郎研究室内  
(事務局業務に関する問合せ先)  
(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会  
E-mail : [office@jslis.jp](mailto:office@jslis.jp) 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>  
ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会  
ゆうちょ銀行019店 口座番号=当座0045759 口座名義=日本図書館情報学会

## 学会声明について

会長 岸田和明

日本図書館情報学会・理事会は、2020年10月21日に、以下の声明を学会ホームページ上に公開いたしました。

2020年、日本学術会議第25期新規会員の任命に際し、内閣総理大臣は、日本学術会議が推薦した会員候補者105名のうち6名を任命しませんでした。その理由についても説明されていません。

この任命拒否は、内閣総理大臣による任命は形式的任命であるという1983年の内閣法制局審議録に基づく任命権の解釈に反するものです。また説明の拒否は民主的手続きの原則に反します。

「人間の知的生産物である記録された知識や情報を収集、組織、保存し、人々の要求に応じて提供する」図書館という、民主的な社会の基盤となる組織とその理念を扱う日本図書館情報学会は、6名の候補の任命、および、経緯の説明を求めます。

日本図書館情報学会・理事会

これに関しては、10月の初めに理事の一人から提案があり、その後、理事会のメーリングリスト上で検討したのち、臨時常任理事会および臨時理事会を開催しました。最終的には、投票により理事の3分の2以上からのご賛同を得て、「日本図書館情報学会・理事会」の名前で声明を出した次第です。以上につきましては、メールアドレスを登録している会員の方には、「速報」として、すでにお知らせしております。理事会では「会員からも意見を求めるべき」との意見もありましたが、かなりの数の方々がメールアドレスを登録しておらず、迅速な対応が必要との判断から「日本図書館情報学会・理事会」として声明を出すことになりました。この件につきまして、ご意見をいただいた方々に、御礼を申し上げます。

## 2021 年度春季研究集会の研究発表申込について

会員各位

会長 岸田和明

2021 年度の春季研究集会を下記の要領で開催します。研究発表申込の受付を開始しますので、〈発表募集要領〉および〈研究大会・春季研究集会における発表のルールについて〉をよくお読みのうえ、ふるってご応募ください。また、2019 年度から学生会員を対象に発表を行うための交通費等を一部補助する事業を開始しました。該当される会員におかれましては申請ください。最後に、春季研究集会の円滑な運営のため、募集要領、発表ルールの遵守を重ねてお願いいたします。

春季研究集会関係の情報は、学会のホームページでも随時、提供します。

会員多数のご参加をお待ちしております。

### 記

主催：日本図書館情報学会

日時：2021 年 5 月 15 日（土）10:00～18:00（予定）

会場：青山学院大学 相模原キャンパス

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

<https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/sagamihara.html>

アクセス：

・JR 横浜線「淵野辺駅」より徒歩約 7 分

宿泊：会場校での斡旋は行いませんので、各自でご手配ください。

参加費：正会員 2,000 円、学生会員 1,000 円、非会員 3,000 円（予定）

### <発表募集要領>

- (1) **応募資格**：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、筆頭発表者が正会員または学生会員であること）

### 重要

研究発表の申込は、申込時点で正会員・学生会員である者に限ります。入会が承認されていない場合は、研究発表の申込はできません。未入会の方は、2021 年 2 月 20 日までに入会申込を行い、3 月 1 日時点で会員資格を得ておく必要があります。入会の承認通知が届いた後に、発表の申込をしてください。

- (2) **発表時間**：1 件 30 分（発表時間 20 分、質疑応答 10 分）

- (3) **発表言語**：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、申込、発表論文、発表、記録まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

- (4) **申込方法**：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上、お申し込みください。  
なお、受理された発表申込は ウェブサイトで公開する予定です。あらかじめご承知おきください。
- (5) **申込締切**：2021年3月15日（月）24時必着  
申し込み直後に申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます（受理の連絡はまた別途行います）。申し込んだにもかかわらずメールがない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までにご連絡ください。
- (6) **発表論文の提出**：発表することが決まった場合には、A4判で4枚の発表論文を作成し、2021年4月15日（木）までに原稿を研究委員会ウェブサイトを送っていただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などについては、発表申込受理者にご連絡いたします。
- (7) **発表のための機材**：パソコンによるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用可能です。その他の機材をご要望の場合には、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までお問い合わせください。
- (8) **優秀発表奨励賞**  
対象は若手研究者（目安として研究歴10年以内）とします。授与のための審査を希望する者は、自己申告（発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希望」にチェック）してください。発表内容、発表技法の観点から、優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果、優れた口頭発表を行い、将来の活躍が期待される若手研究者（正会員、学生会員）に授与します。受賞者は、学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表されます。
- (9) **交通費等一部補助（2019年度から開始）**  
以下の要領で発表を行うための費用補助を行います。希望される方は申請してください。
- ① 対象者：第一発表者として研究発表（口頭，ポスター）を行う学生会員
  - ② 人数：希望者全員
  - ③ 申請基準  
自宅または通学する大学の最寄駅のうち研究集会開催校の最寄駅に近い方を起点として、研究集会開催校の最寄駅まで片道300km以上であること。
  - ④ 申請方法  
学会発表申請システムの「研究集会参加のための交通費一部補助希望」欄にチェックを入れ、自宅または通学する学校の最寄駅のうち、研究集会開催校の最寄駅に近い方を申告する。
  - ⑤ 補助額：一律15,000円
  - ⑥ 支給時期と方法  
研究集会で研究発表を確認後、1週間以内に事務局から振り込む。なお、支給した者に振込確認後、受領書の提出を求める。
  - ⑦ 補助に際してのルール
    - 1) 申請は単年度あたり1人1回に限る。
    - 2) 研究発表を取りやめた場合は支給しない。
    - 3) 本制度で賄えない残りの交通費等を補うために、併せて他機関から補助を受けることを認める。

<研究大会・春季研究集会における発表のルールについて>

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて 1 回を原則とする。
- (4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は、発表を取り下げたものとみなす。
- (7) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル, 発表者, 発表内容, 発表スケジュール)の変更は原則として認めない。
- (8) 発表申込, 発表論文作成, 発表, 発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする。
- (9) 発表当日の資料配布は、原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は、発表当日の 1 週間前までに研究委員会宛に、資料に配布の理由を添えて申請し、許諾を得る。資料配布が認められた場合は、印刷、配布および回収は発表者自身で責任をもって行う。

#### <発表者への諸注意>

- (1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。
- (2) 会場の備え付けの発表用 PC に発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。
- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けの PC での発表としています。持ち込み PC の利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に<PC のつなぎかえの希望>について、必ず明記して下さい。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込み PC のつなぎかえはできません。

※ 発表論文集は有償で頒布します。価格は会員 2,000 円、非会員 3,000 円（予定）です。郵送を希望する場合は、下記連絡先にご一報下さい。研究集会終了後に振込先の連絡を差し上げますので、2 週間以内に郵送料（レターパックライト 370 円）との合計額を指定の口座にお振り込みください。入金を確認され次第、論文集を送付します。

連絡先：研究委員会（kenkyu@jslis.jp）

件名は「春季研究集会発表論文集頒布希望」としてください。

## 2021 年度研究助成の公募

研究委員会

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。2021 年度は①『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿を予定し研究を行っている者、②図書館情報学分野での科研費の申請を予定し研究を行っている者、③博士論文執筆のための研究に取り組んでいる者を主たる対象として次の要領で募集を行います。研究歴が浅い研究者、外部資金を得にくい条件にある研究者を優先的に支援します。またこれから研究が本格化する萌芽的研究も本助成の対象とします。ふるってご応募ください。

### 記

#### 1. 助成額

30 万円を 1 件の申請額の上限とし、一定の選考条件を満たした研究、2 件に交付予定。なお審査の結果、申請額が減額されることがある。

#### 2. 応募条件

- a. 本学会の個人会員が、個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。共同研究の人数は 3 人程度とする。
- b. 応募は研究代表者が申込時点で正会員・学生会員である者に限る。すなわち入会が承認されていない場合は、研究助成の応募はできない。未入会者は、応募申込締切前の入会申込締切日となる 4 月 20 日までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に、発表の申込をすること。
- c. 2022 年 3 月 31 日までに研究を終了させていること。
- d. 2022 年 3 月 31 日までに所定の書式によって「研究成果報告書」「会計報告書」および領収書のデジタルコピーを提出すること。
- e. 以下のいずれかの要件を満たすこと。
  - ・研究終了後 2 年以内（2024 年 3 月 31 日まで）に『日本図書館情報学会誌』に研究代表者が単独あるいは筆頭著者となる原著論文として投稿すること。
  - ・研究終了の翌年度（2022 年度）内に研究代表者が代表者として科研費に応募し、その申請書を提出すること。
  - ・研究終了後 3 年以内（2025 年 3 月 31 日まで）に研究代表者が博士論文を提出すること。
- f. すでに本助成に申し込んだことがある場合、以前の助成の要件が満たされている場合のみ、本年度の申請を認める。

#### 3. 選考および選考後の報告義務

「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に助成者名と研究題目を掲載する。

- ・助成者は研究終了後 1 ヶ月以内に、領収書の電子複写物を研究委員会に提出すること。
- ・助成者は 2.応募条件の e.に示された要件を満たした時点で、すみやかに研究委員会に報告すること。

もし要件を満たせない事情が生じた場合、各応募条件の要件となる締切期日の1ヶ月前までに研究委員会に連絡すること。その際は、然るべき措置を講じる。

#### 4. 応募方法

学会ウェブサイトから研究助成公募申請フォーム（2021年4月上旬に掲載予定）にアクセスの上、お申し込みください。申請に必要な応募項目は以下の10項目を予定しています。

(1) 提出日

(2) 研究代表者の情報

氏名

ふりがな

所属

会員種別

E-mail

(3) 研究分担者の情報

氏名

ふりがな

所属

役割分担

※共同研究の場合のみ、研究代表者以外の研究分担者全員を記入してください。役割分担については、研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入してください。

(4) 研究題目

(5) 申請金額（円） ※上限 30 万円

内訳（円）

資料購入費・機器購入費・印刷複写費・旅費・消耗品費・謝金・その他の各金額を示してください。研究計画と経費の整合性を明らかにしてください。

(6) 研究の目的（700字程度）

この研究助成を希望することによって、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

(7) 研究の意義（500字程度）

この研究の学術的な特色・独創性および期待される成果等について、具体的に記入してください。

(8) 研究の実施計画（800字程度）

研究目的を達成するための計画・方法について、①これまでの準備状況、②本研究助成金との関連性、の二点を含めて具体的に記入してください。研究目的との整合性を明らかにしてください。

(9) 研究成果の発表時期と方法（200字程度）

2. 応募条件 e.のいずれを予定しているか具体的に記入してください。

(10) 特記事項（200字程度）

例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等、この助成が必要な特別の事情などがあれば、記入してください。

#### 5. 応募締切

2021年5月7日(金) 24時必着

## 役員会等の記録

### 2020年度第3回常任理事会（開催記録）

日時：2020年9月6日（土）13:00～15:00

場所：Webexによるオンライン会議

出席者（敬称略）：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井（記録），金井

欠席者：小泉

1. 各委員会に関する報告・協議
2. 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与
3. 学会活動に貢献があった者への感謝状の贈呈
4. 2020年度会員集会（オンライン）の次第整理
5. 2020年度第2回理事会の議題整理

### 2020年度臨時常任理事会（開催記録）

日時：2020年10月16日（金）9:30～19:30

場所：メールによる持ち回り審議

出席者（敬称略）：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井（記録），金井，小泉

欠席者：なし

1. 「日本学術会議」の問題についての対応

### 2020年度第4回常任理事会（開催記録）

日時：2020年11月1日（日）13:00～14:30

場所：Webexによるオンライン会議

出席者（敬称略）：岸田，三浦，青柳，安形，浅石，今井（記録），金井，小泉

欠席者：なし

1. 各委員会に関する報告・協議
2. 臨時常任理事会・臨時理事会の開催について（2020年10月分開催の確認）
3. 声明の発表について
4. 予算執行状況
5. 会報の電子化に関する検討について

### 2020年度第2回理事会（議事抄録）

日時：2020年9月13日（日）13:00～15:00

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者（敬称略）：岸田，三浦，浅石，安形輝，青柳，今井（記録），小泉，金井，

安形麻理，池内淳，池内有為，池谷，岩崎，影浦，河西，河村，須賀，福井，

松林，松本，宮田

欠席者：瀬戸口，常世田

列席者：田村，山本(監事)

会に先立って，前回議事録の確認が行われた。

1. 2020 年度定例（通信）総会の議案投票結果報告

2020 年度定例（通信）総会の成立ならびに議案成立が確認された。

2. 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

学会賞，論文賞，奨励賞の選考過程について報告が行われた。その結果，学会賞 1 件，論文賞 1 件，奨励賞 1 件とする提案が行われ，全て承認された。

3. 学会活動へ貢献があった者への感謝状の贈呈

対象者がいないことを確認した。

4. 2020 年度事業の計画報告

資料に基づき，各委員会から今年度の活動が報告された。

- 青柳研究委員長から，研究大会の開催及び発表申込数，参加申し込み状況，オンライン開催に伴う技術ワーキンググループの発足について報告が行われた。研究大会プログラムの表記について理事より 1 点の指摘があり，研究委員会で検討することとなった。
- 浅石編集委員長から，学会誌の刊行状況やスケジュール，編集委員会に関する内規の作成・改訂，学会誌の査読綱領の作成，投稿規程の改訂，学会誌の掲載原稿及び審査に関するルールの改訂について報告が行われた。査読綱領については，会員集会で説明を行った上で，半年間の周知期間を設けて来年の 4 月 1 日から改訂する旨，編集委員長から説明された。
- 今井総務委員長から，学会ウェブサイトの管理運営，メールマガジンの配信，定例（通信）総会の状況ならびに，会報の完全電子化について本年度の総務委員会で手法の検討を行う旨が報告された。
- 三浦副会長より，図書館情報学教育に資する事業について，昨年度中止され再実施を検討していたシンポジウムについて，実施しないことが報告された。
- 三浦副会長より，『図書館情報学用語辞典』第 5 版の発売と本文データの利活用について，ならびに項目説明において誤記が生じた経緯とその対応について報告された。また安形麻理用語辞典編集委員長からも，説明とお詫びがなされた。
- 三浦副会長より，資料に基づいて，『図書館情報学事典』（仮称）の編集について，スケジュールの報告が行われた。
- 金井事務局長より，資料に基づいて会勢報告および新型コロナウイルス流行に伴う会費減免措置の状況について報告が行われた。

5. 2020 年度会員集会の次第

資料に基づいて会員集会の次第が確認された。

6. その他

今井総務委員長より 2020 年度第 1 回目理事会の議事録の修正があったこと，関連して次回会報発行時に訂正記事を掲載することが報告された。

## 2020年度臨時理事会（議事抄録）

日時：2020年10月19日（月）9:30～2020年10月20日（火）19:30

場所：メールによる持ち回り審議

メールによる持ち回り審議について、23名中20名から返答があり、会は成立した。

### 1. 「日本学術会議」の問題についての対応

常任理事会の原案（会報本号の冒頭掲載）について、以下のように賛否が示された。

#### (1) 学会公式ホームページにて声明を公表する

賛成18名，反対2名

- 「賛成」が「23名」の過半数を超えたので声明を公表する。

#### (2) 声明として、上記の文章（常任理事会原案）を採用する

賛成18名，反対0名

- 「賛成」が「23名」のうちの3分の2以上なので、常任理事会原案を「日本図書館情報学会・理事会」で発表する。

また、事前に会員への周知がないまま理事会が声明を公表することに対して反対する意見が1名の理事から示された。

### 【理事会記録の訂正について】

会報No. 181に掲載された「2020年度第1回理事会（議事抄録）」について、以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。（総務委員長）

(p. 22 4行目)

誤：資料に基づいて 2019年度事業計画案の

正：資料に基づいて 2020年度事業計画案の

(p. 22 6行目)

誤：4. 2019年度予算案

正：4. 2020年度予算案

## 会員メールアドレスの確認についてのお願い

本年度の通信総会において、会員メールアドレスが正しく登録されていなかったため投票できなかった事例や、メールアドレス大文字、小文字の登録違いにより、ログイン時にトラブルが起きた事例が報告されております。

会員情報システムに登録されているメールアドレスは、通信総会での投票権利行使だけでなく、会費納入状況の確認など学会から各会員へ連絡する際の重要な連絡手段となっております。また全会員へ速やかに情報共有する手段としても今後活用できればと考えております。大変恐れ入りますが、以下のURLより会員メールアドレスをご確認頂き、都度最新のものを登録して頂きますようお願い申し上げます。ログイン情報が不明な場合は事務局までお問い合わせ下さい。

会員情報システム URL：<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/JSLIS>

(総務委員会)

## 『図書館情報学用語辞典』第5版の修正について

日本図書館情報学会『図書館情報学用語辞典』第5版編集委員会

会報前号で刊行をご報告しておりました『図書館情報学用語辞典』第5版（丸善出版，2020）において、「ランガナータン」の項目の記載が全面的に誤っておりました（p.251）。丸善出版への入稿時のデータの取違いに起因するもので、「デービス」の説明を記載しておりました。校正時にも気づくことができませんでした。会員および読者の皆さまにはご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。以下のように訂正させていただきます。

### 【誤】

ランガナータン Ranganathan, Shiyali Ramamrita

1896-1967. 米国ワシントン DC 生まれ. 米国におけるドキュメンテーションの創始者. 大学卒業後, 物理学者として研究の傍ら, 新聞に科学記事の寄稿を始め, 1922 年に科学知識の流通と普及を目的とする非営利団体サイエンスサービス (Science Service) が発行する新聞 *Science News* (1921- 創刊時は *Science News Letter*) の編集者に就任. マイクロ写真技術を科学情報流通に利用するドキュメンテーション活動を構想し, 同機関の所長に就任後, 1935 年に機関内にドキュメンテーション部門 (Documentation Institute) を設立し, 学術雑誌への抄録の提供とマイクロフィルムによる原報提供サービスを始める. 1937 年アメリカドキュメンテーション協会 (American Documentation Institute) 初代会長に就任した.

→基本カテゴリー：コロソ分類法：図書館学：ドキュメンテーション：ファセット分類法

### 【正】

ランガナータン Ranganathan, Shiyali Ramamrita

1892-1972. インドのマドラス州生まれ. インド図書館学の父とも分類理論の世界的権威とも称され, 現代の図書館学やドキュメンテーションに大きな影響を与えた人物の一人. 当初数学の道に進むが, マドラス大学の初代図書館長に就任し, ロンドン大学図書館学部に留学したことをきっかけに図書館学の研究と実践の道に転じ, コロソ分類法で有名な図書館分類法に対する貢献を始めとして, 目録法の研究, 「図書館学の五法則」で知られる図書館学の根本原理の提唱など, 図書館学のほぼ全分野にわたって活動した. さらに, インドの図書館の発展に尽くしただけでなく, 国際ドキュメンテーション連盟などの場で国際的にも活躍した.

→基本カテゴリー：コロソ分類法：図書館学：ドキュメンテーション：ファセット分類法

現在, 丸善出版のウェブサイトから, 正しい項目を PDF 形式で公開しております. 実際の版面に合わせておりますので, 初刷をお持ちの皆様には, PDF ファイルを印刷し貼付することで修正していただくことができます.

[https://www.maruzen-publishing.co.jp/fixd/files/pdf/303887/errata\\_pdf\\_303887.pdf](https://www.maruzen-publishing.co.jp/fixd/files/pdf/303887/errata_pdf_303887.pdf)

なお, 電子書籍版および Japan Knowledge 収録版では誤りを訂正済みであり, 紙版については重版時に訂正いたします.

また、以下の項目において「をも見よ参照」の記載に訂正があります。参照先の項目名と一致しない記述や、第5版で削除されている項目への参照を記したものです。重ねてお詫びいたします。

ページ	項目	行	【誤】	【正】
p.19	API	下から2行目	ウェブサービス：	[削除]
p.38	カッター	下から1行目	著者記号法	著者記号表
p.49	義務設置制	下から2行目	学校図書館法	学校図書館法（日本）
p.62	検索技術者検定	下から2行目	情報科学技術協会	情報科学技術協会（日本）
p.67	格子なき図書館	下から1行目	CIE 映画	CIE 図書館
p.69	公民館	下から1行目	社会教育法	社会教育法（日本）
p.74	国立国会図書館	下から1行目	帝国図書館	帝国図書館（日本）
p.89	シェラ	下から2行目	ドキュメンテーション	ドキュメンテーション
p.90	識別子	下から1行目	サブフィールドコード	サブフィールド
p.98	ジャパン・ライブラリースクール	下から1行目	図書館学教育	図書館学
p.119	職工図書館	下から1行目	ソーシャルライブラリー	ソーシャル・ライブラリー
p.188	内容識別子	下から3行目	サブフィールドコード	サブフィールド
p.202	パネルシアター	下から2行目	エプロンシアター	エプロンシアター®
p.208	ビブリオバトル	下から1行目	書評：	[削除]
p.216	ブダペスト宣言	下から1行目	：セルフアーカイブ	[削除]
p.229	ペープサート	下から2行目	エプロンシアター	エプロンシアター®
p.263	和本	下から1行目	唐本	唐本仕立

### 委員会・事務局より

#### 『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」、「執筆要綱」、「『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。

すでに会員集會でお伝えした通り、2021年4月1日受付分より「文献展望」が査読つき原稿となり、再査読の回数が現行の「2回」から「原則1回」となります。また、編集委員会では査読者向けのガイ

ドラインとなる「日本図書館情報学会査読綱領」を作成しました。これらの内規については今後、学会ウェブサイトで改訂版を掲載予定です。

(編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2018年7月8日改訂  
[http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/09/c\\_reg\\_180708.pdf](http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/09/c_reg_180708.pdf)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016年10月8日改訂  
[http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w\\_out\\_161008.pdf](http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2020年3月20日改訂  
[http://jslis.jp/wp-content/uploads/2020/03/JSLIS\\_review\\_rule200320.pdf](http://jslis.jp/wp-content/uploads/2020/03/JSLIS_review_rule200320.pdf)

#### 視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』の PDF 版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

(編集委員会)

#### メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (somu@jslis.jp) にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDF の添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。

(総務委員会)

#### 2020 年度の会費納入のお願い

2020 年度の会費払込用紙は 6 月号の学会誌に封入されておりますので、そちらを利用して支払をお願いいたします。

なお、2019 年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2018 年度までの会費を未納の場合は、2019 年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を 3 年滞納した会員 (学生会員は 2 年) については、その年度末 (3 月 31 日) に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。

#### **【振り込み先】**

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019 店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い (もしくは決済) が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

## 会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム (SOLTI) から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の4月20日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意ください。

(事務局)

## 学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- ・ 入矢玲子 著『プロ司書の検索術 : 「本当に欲しかった情報」のを見つけ方』日外アソシエーツ, 2020
- ・ 情報処理学会歴史特別委員会 編『情報処理技術遺産とパイオニアたち』近代科学社, 2020
- ・ 情報処理学会 60年のあゆみ編纂委員会『情報処理学会 60年のあゆみ』情報処理学会, 2020
- ・ 中島玲子, 安形輝, 宮田洋輔 著『スキルアップ! 情報検索 : 基本と実践』新訂第2版, 日外アソシエーツ, 2021
- ・ 原田智子 編著『プロの検索テクニック : 検索技術者検定2級公式推奨参考書』第2版, 樹村房, 2020
- ・ Rei Miyata. *Controlled document authoring in a machine translation age*. Routledge, 2021

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局 (相模女子大学金井研究室) まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)